

文献・先行研究の調べ方

1. 文献・先行研究の調査

- (1) ほとんどのアイデアは誰かが研究している。
- (2) 調べないとテーマにできない。→「文献調査」は「基礎学習」の意味もある。
- (3) 文献・先行研究をふまえていない研究は、大学・企業・研究機関等においては、認められない。

2. 文献・先行研究の調べ方

(1) 書籍

先行研究の情報を得るというよりは、研究に関するまとまった「知識」を得るのに効果的である。
→まとまった内容が系統立てて説明してある。

例. 講談社「ブルーバックス」、「サイエンス・アイ新書」、「PHPサイエンス・ワールド」等

注意：必要な書籍を探すのが大変である。

(2) インターネット

手軽に多くの「情報」を得ることができる。

→言葉の意味、現象や法則の解説、論文検索、大学や研究機関の情報 等

注意：① 内容の信憑性は、保証できない。(Wikipedia 等)

② 情報が系統立ててまとまっていない。

→研究論文の「引用文献」としては使用できない。

3. 具体的な手立て

(1) 学校図書館の利用

① 司書さんに相談する。

→どのようなテーマで、どのような分野で研究されているか、ある程度調べてから相談すること。

② 必要な書籍があるか、コンピューターで検索する。

(2) 公共図書館の利用

① 図書館の書籍を検索する。

例. 「カーリル」：図書館の蔵書検索サイト

② 大学図書館を利用する。

→専門的な論文は豊富にあるが、高校生などの学外者の利用については、HP 等で確認すること。

例. 「CiNii(サイニイ) Articles」、「CiNii Books」：大学図書館の論文・書籍検索サイト

注意：有料サービスのものもある。

(3) 検索サイトの利用

① 「Google Scholar」：学術関連の論文や記事を検索できる。

② 「国立国会図書館サーチ」：国立国会図書館の資料以外に、公立図書館の蔵書・デジタル情報の検索ができる。

(4) 各種研究発表会の要旨集・論文集の利用

→本校AKCのポスター集・論文集に先行研究がある場合、参考にすること。

他、他校の課題研究、SSH生徒研究発表会、日本学生科学賞、JSEC、化学グランドコンテスト 等